

▶彫刻に取り組む参加者



御領石で“くまモン”をつくったよ!

「御領石」を使った彫刻教室

子どもたちを対象にした、五和町特産の「御領石」を使った“くまモン”の彫刻教室が8月6日から同8日まで、五和支所で開かれました。

御領まちづくり振興会が、御領石に触れてもらおうと初めて実施したのも。子どもたちは、“御領石の会”の会員の指導を受けて“のみ”と“金づち”を使って彫刻を実施。無心になって彫刻に取り組んでいました。

同8日には色塗りをを行い、世界にひとつだけしかない自分だけの“くまモン”が完成。子どもたちは満足そうに笑顔を見せていました。

▶完成した“くまモン”と記念撮影



緊急事態に備えて

災害応急復旧活動模擬訓練

災害で水道施設が被害を受けたときの、応急給水復旧活動に関して協定を結んでいる市と天草市管工事業協同組合は8月3日、杵宇土町で災害応急活動の模擬訓練を実施。市や同組合の関係者38人と地元保育園の園児約20人が参加しました。訓練は、小雨の影響で水不足になったとの想定で実施。同組合から災害応急給水車が出勤しました。現地では、市や同組合の関係者がタンクに蛇口のパイプをつなぐなどの作業を行い応急給水所を設置。また、園児たちが水をバケツに入れて運ぶなど熱心に取り組んでいました。



▲訓練に参加する園児たち

折り紙を交えた生涯学習

あまくさカレッジ

天草町の天草地区公民館主催の生涯学習講座「あまくさカレッジ」が7月25日、高浜地区コミュニティセンターで開催され、地区住民22人が参加しました。

元水族館館長の川原征一郎さんが、“「今を生きる」～折り紙を交えながら～”と題して講演。絵本の読み聞かせや、海の生き物の折り紙・脳の模型などの教材を交えながら、「生きる」ことについて話され、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲折り紙を折る川原さん

地域防災体制の充実に向けて

消防団協力事業所表示制度・表示証交付式

4月からスタートした「消防団協力事業所表示制度」の表示証交付式が8月1日、市役所本庁で開かれました。この制度は、消防団活動に積極的に協力している事業所を広く周知することを目的に、事業所などからの申請・推薦を受けて市が認定しているもの。この日は、認定を受けた7事業所が出席。安田市長から表示証がそれぞれ手渡されました。

市では、同制度の協力事業所を随時募集しています。申請方法などの詳細は、本庁・防災危機管理課☎⑩1111へ。



▲表示証交付を受けた事業所の皆さんと安田市長

伝統漁法を体験!!

とんとこ漁体験

7月24日、御所浦中学校の1年生24人が、御所浦町に戦前から伝わる独特の追いこみ漁「とんとこ漁」を体験しました。“とんとこ漁”という名称は、網をひきあげるときに魚が逃げないように網の中へ追い込むため、船などを“トントコ”とたたいた音から名前がついたといわれています。

生徒たちは、地元の漁船3そうにそれぞれ乗り、御所浦港から約5kmの沖合いで漁を体験。ひきあげた網の中に入っているたくさんの魚を見て、大喜びしていました。



▲網をひきあげる生徒たち

息の合ったプレーを見せました

天草地区少年消防クラブ親善球技大会

7月31日、市内8つの小学校で組織されている、少年消防クラブの児童約180人が参加し、「第8回天草地区少年消防クラブ親善球技大会」が河浦総合運動場と河浦中央体育館で行われました。競技は、ソフトボールとビーチボールバレーを実施。子どもたちは暑い中、仲間や保護者の声援を受けて息の合ったプレーで熱戦を繰り広げていました。



▲ビーチボールバレーをする子どもたち